

## ◀2012年 九州大学(前期)▶

## ♠ 理系学部

**1** 円  $x^2 + (y-1)^2 = 4$  で囲まれた図形を  $x$  軸のまわりに 1 回転してできる立体の体積を求めよ.

**2** 2 次の正方行列  $A, B$  はそれぞれ

$$A \begin{pmatrix} -3 \\ 5 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ -1 \end{pmatrix}, \quad A \begin{pmatrix} 7 \\ -9 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 8 \\ -11 \end{pmatrix}$$

$$B \begin{pmatrix} 0 \\ -1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -5 \\ 6 \end{pmatrix}, \quad B \begin{pmatrix} 8 \\ -11 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -7 \\ 10 \end{pmatrix}$$

をみたすものとする. このとき, 以下の問いに答えよ. ただし,  $E$  は 2 次の単位行列を表すものとする.

- (1) 行列  $A, B, A^2, B^2$  を求めよ.
- (2)  $(AB)^3 = E$  であることを示せ.
- (3) 行列  $A$  から始めて,  $B$  と  $A$  を交互に右から掛けて得られる行列

$$A, AB, ABA, ABAB, \dots,$$

および行列  $B$  から始めて,  $A$  と  $B$  を交互に右から掛けて得られる行列

$$B, BA, BAB, BABA, \dots,$$

を考える. これらの行列の中で, 相異なるものをすべて成分を用いて表せ.

**3** 実数  $a$  と自然数  $n$  に対して,  $x$  の方程式

$$a(x^2 + |x+1| + n-1) = \sqrt{n}(x+1)$$

を考える. 以下の問いに答えよ.

- (1) この方程式が実数解を持つような  $a$  の範囲を,  $n$  を用いて表せ.
- (2) この方程式が, すべての自然数  $n$  に対して実数解を持つような  $a$  の範囲を求めよ.

**4**  $p$  と  $q$  はともに整数であるとする. 2 次方程式  $x^2 + px + q = 0$  が実数解  $\alpha, \beta$  を持ち, 条件  $(|\alpha| - 1)(|\beta| - 1) \neq 0$  をみたしているとする. このとき, 数列  $\{a_n\}$  を

$$a_n = (\alpha^n - 1)(\beta^n - 1) \quad (n = 1, 2, \dots)$$

によって定義する. 以下の問いに答えよ.

- (1)  $a_1, a_2, a_3$  は整数であることを示せ.
- (2)  $(|\alpha| - 1)(|\beta| - 1) > 0$  のとき, 極限值  $\lim_{n \rightarrow \infty} \left| \frac{a_{n+1}}{a_n} \right|$  は整数であることを示せ.
- (3)  $\lim_{n \rightarrow \infty} \left| \frac{a_{n+1}}{a_n} \right| = \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$  となるとき,  $p$  と  $q$  の値をすべて求めよ. ただし,  $\sqrt{5}$  が無理数であることは証明なしに用いてよい.

**5** いくつかの玉が入った箱 A と箱 B があるとき, 次の試行 T を考える.

(試行 T) 箱 A から 2 個の玉を取り出して箱 B に入れ, その後,  
箱 B から 2 個の玉を取り出して箱 A に入れる.

最初に箱 A に黒玉が 3 個, 箱 B に白玉が 2 個が入っているとき, 以下の問いに答えよ.

- (1) 試行 T を 1 回行ったときに, 箱 A に黒玉が  $n$  個入っている確率  $p_n$  ( $n = 1, 2, 3$ ) を求めて既約分数で表せ.
- (2) 試行 T を 2 回行ったときに, 箱 A に黒玉が  $n$  個入っている確率  $q_n$  ( $n = 1, 2, 3$ ) を求めて既約分数で表せ.
- (3) 試行 T を 3 回行ったときに, 箱 A の中がすべて黒玉になっている確率を求めて既約分数で表せ.

## ♠ 文系学部

**1** 原点を O とする座標空間に, 3 点  $A(1, 0, 0)$ ,  $B(0, 0, 2)$ ,  $C(-2, 1, 3)$  がある. このとき, 以下の問いに答えよ.

- (1)  $\triangle ABC$  において,  $\angle B$  は  $\frac{\pi}{2}$  より大きいことを示せ.
- (2) 点 A から直線 BC に下ろした垂線と直線 BC との交点を H とする. 点 H の座標を求めよ.
- (3)  $\triangle OAH$  の面積を求めよ.

**2** 関数  $f(x) = x^3 + 3x^2 + x - 1$  を考える. 曲線  $C: y = f(x)$  について, 以下の問いに答えよ.

- (1)  $t \geq 0$  のとき, 曲線 C は傾きが  $t$  である接線を 2 本持つことを示せ.
- (2) (1) において, 傾きが  $t$  である 2 本の接線と曲線 C との接点を, それぞれ  $P(p, f(p))$ ,  $Q(q, f(q))$  とする (ただし  $p < q$ ). このとき, 点 P と点 Q は点  $A(-1, 0)$  に関して対称の位置にあることを示せ.
- (3)  $t \geq 0$  のとき, 2 点 P, Q の間の距離の最小値を求めよ. また, 最小値を与えるときの P, Q の  $x$  座標  $p$ ,  $q$  もそれぞれ求めよ.

**3** 100 人の団体がある区間を列車で移動する. このとき, 乗車券が 7 枚入った 480 円のセット A と, 乗車券が 3 枚入った 220 円のセット B を購入して, 利用することにした. 以下の問いに答えよ.

- (1)  $x$  が 0 以上の整数であるとき, 次のことを示せ.

$\frac{1}{3}(100 - 7x)$  は,  $x$  を 3 で割ったときの余りが 1 の場合に整数であり, それ以外の場合は整数ではない.

- (2) 購入した乗車券は, 余らせずすべて利用するものとする. このとき, セット A とセット B の購入の仕方をすべて挙げよ.
- (3) 購入した乗車券は余ってもよいものとする. このとき, A のみ, あるいは B のみを購入する場合も含めて, 購入金額が最も低くなるのは, A, B をそれぞれ何セットずつ購入するときか. またそのときの購入金額はいくらか.

**4** 理系学部の **5** と同じ.

**出題範囲と難易度**

## ♣ 理系学部

- 1 標準  III 積分の応用
- 2 標準  C 行列
- 3 難  I 2次方程式
- 4 難  III 数列の極限
- 5 標準  A 確率

## ♣ 文系学部

- 1 標準  B 空間図形
- 2 標準  II 微分積分
- 3 標準  I 整数
- 4 標準  A 確率

## 略解

## ◇ 理系学部

$$\mathbf{1} \quad 6\sqrt{3}\pi + \frac{16}{3}\pi^2$$

$$\mathbf{2} \quad (1) \quad A = \begin{pmatrix} 5 & 3 \\ -8 & -5 \end{pmatrix}, \quad B = \begin{pmatrix} 6 & 5 \\ -7 & -6 \end{pmatrix}, \quad A^2 = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}, \quad B^2 = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$$

(2) 証明は省略

$$(3) \quad \begin{pmatrix} 5 & 3 \\ -8 & -5 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} 9 & 7 \\ -13 & -10 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} -11 & -8 \\ 15 & 11 \end{pmatrix}, \\ \begin{pmatrix} -10 & -7 \\ 13 & 9 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} 6 & 5 \\ -7 & -6 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$$

$$\mathbf{3} \quad (1) \quad -\frac{\sqrt{n}}{2\sqrt{n}+3} \leq a \leq \frac{\sqrt{n}}{2\sqrt{n}-1}$$

$$(2) \quad -\frac{1}{5} \leq a \leq \frac{1}{2}$$

$\mathbf{4}$  (1) 証明は省略

(2) 証明は省略

$$(3) \quad (p, q) = (1, -1), (-1, -1)$$

$$\mathbf{5} \quad (1) \quad p_1 = \frac{1}{6}, \quad p_2 = \frac{2}{3}, \quad p_3 = \frac{1}{6}$$

$$(2) \quad q_1 = \frac{5}{18}, \quad q_2 = \frac{11}{18}, \quad q_3 = \frac{1}{9}$$

$$(3) \quad \frac{11}{108}$$

## ◇ 文系学部

$\mathbf{1}$  (1) 証明は省略

$$(2) \quad H\left(\frac{4}{3}, -\frac{2}{3}, \frac{4}{3}\right)$$

$$(3) \quad \frac{\sqrt{5}}{3}$$

$\mathbf{2}$  (1) 証明は省略

(2) 証明は省略

$$(3) \quad \text{最小値 } \frac{10\sqrt{6}}{9} \quad (p, q) = \left(-1 - \frac{\sqrt{6}}{3}, -1 + \frac{\sqrt{6}}{3}\right), \quad \left(-1 - \frac{\sqrt{15}}{3}, -1 + \frac{\sqrt{15}}{3}\right)$$

$\mathbf{3}$  (1) 証明は省略

$$(2) \quad (\text{セット A}, \text{セット B}) = (1, 31), (4, 24), (7, 17), (10, 10), (13, 3)$$

(3) A を 13 セット, B を 3 セット

購入金額は, 6900 円

$\mathbf{4}$  理系学部  $\mathbf{5}$  と同じ.